

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング
【施策番号 24159：地球内部ダイナミクス研究（文部科学省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 10 日（金） 16:30～17:00
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 第 3 特別会議室
- 3 聴取者：白石議員、奥村議員
外部専門家 6 名（うち若手 2 名）
内閣府 梶田審議官、大石審議官、廣木参事官
- 4 説明者：文部科学省 研究開発局海洋地球課 堀内課長
（独）海洋研究開発機構 地球内部ダイナミクス領域 深尾領域長 他

5 施策概要

日本列島周辺海域、西太平洋域を中心に、地震・火山活動の原因、島弧・大陸地殻の進化、地球環境変遷等についての知見を蓄積するため、深海調査システム、海底地震計等により、地球内部から地殻表層に至る地球内部のダイナミクスに関する調査観測と実験、モデル研究等を行う。

6 質疑応答模様

【奥村議員】

研究の政策的成果をどこに置くのか？ どういった状況を把握したらメカニズムを解明したことになるのか？

【文部科学省】

最新の大型研究インフラにより地球内部のフロンティアを解明していく。また、海溝型地震の発生メカニズムを掴む。プライオリティが高い地震に関して、ちきゅうにより地震発生帯のサンプルを得るために、現在、南海トラフに取りかかっている。

【外部専門家】

世界的な位置づけはどうか？ 日本のリーダーシップは取れているか？

【（独）海洋研究開発機構、文部科学省】

リーダーシップを特に取っている分野は、大規模な船と構造探査の機器で海底の地殻構造を深くまで明らかにしている分野や、地球深部のマントル等の構造を明らかにする地震波トモグラフィーの分野。またちきゅうの運行では、外国の研究者との共同研究チームにより、科学掘削を行っている。

【奥村議員】

政策目標とサイエンスが両方あると思うが、政策目標に貢献すると説明するよりもサイエンスが目的であると説明した方がいいのではないかと？

【文部科学省】

昨年の事業仕分けでは逆の指摘がなされた。この研究分野はサイエンスとしての要素と、防災対策の強化という目的が近い。両方に貢献している。

【白石議員】

基礎研究であり、国しか実施できないと説明する方がよい。

【外部専門家（若手）】

10億円のうち、一番費用がかかるのはどこか？

【文部科学省】

人件費であり、6割を占める。

以上